

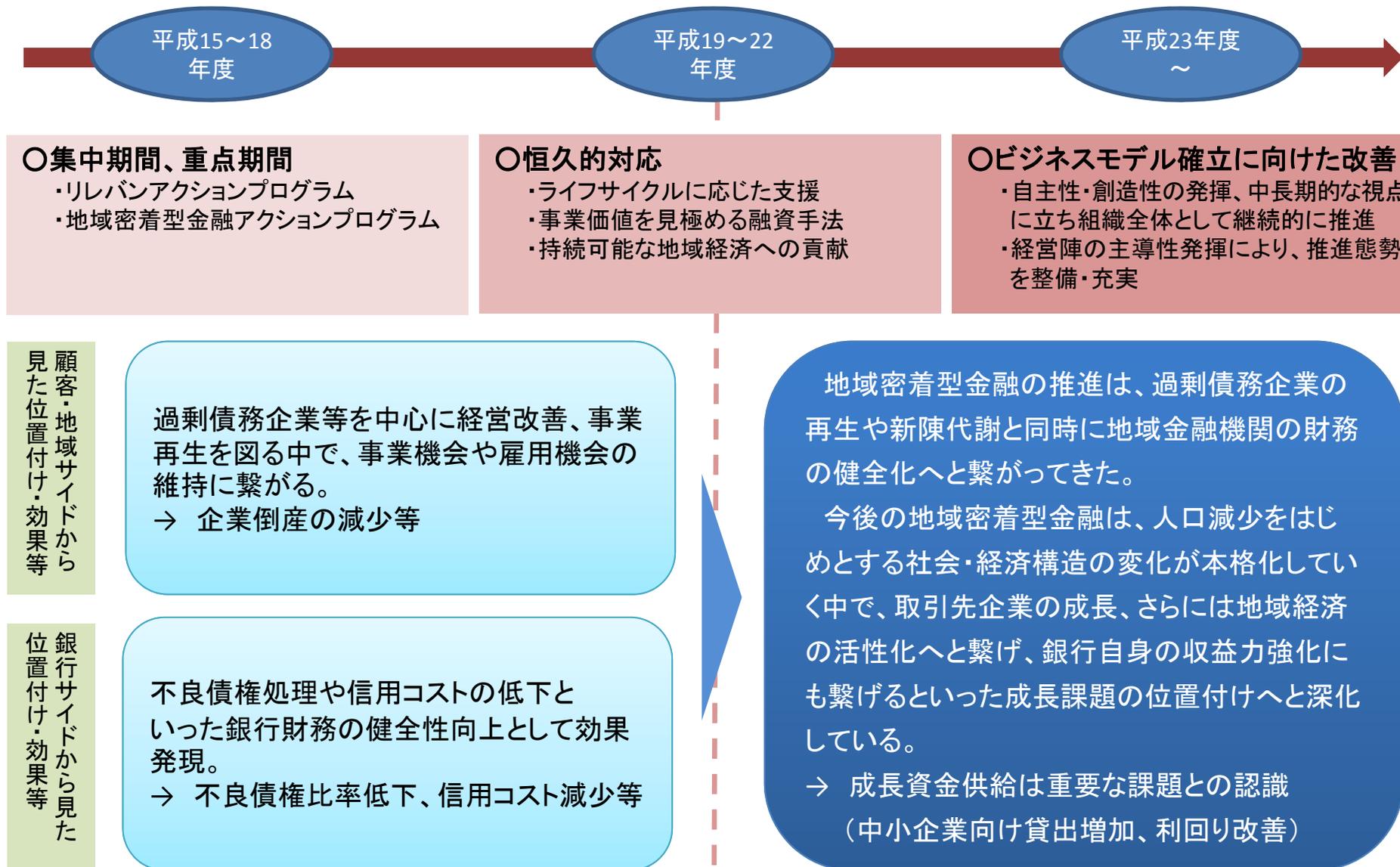
# 成長資金の供給に向けた地方銀行の取組み －地域密着型金融の推進を通じて－

2014年10月23日

一般社団法人全国地方銀行協会

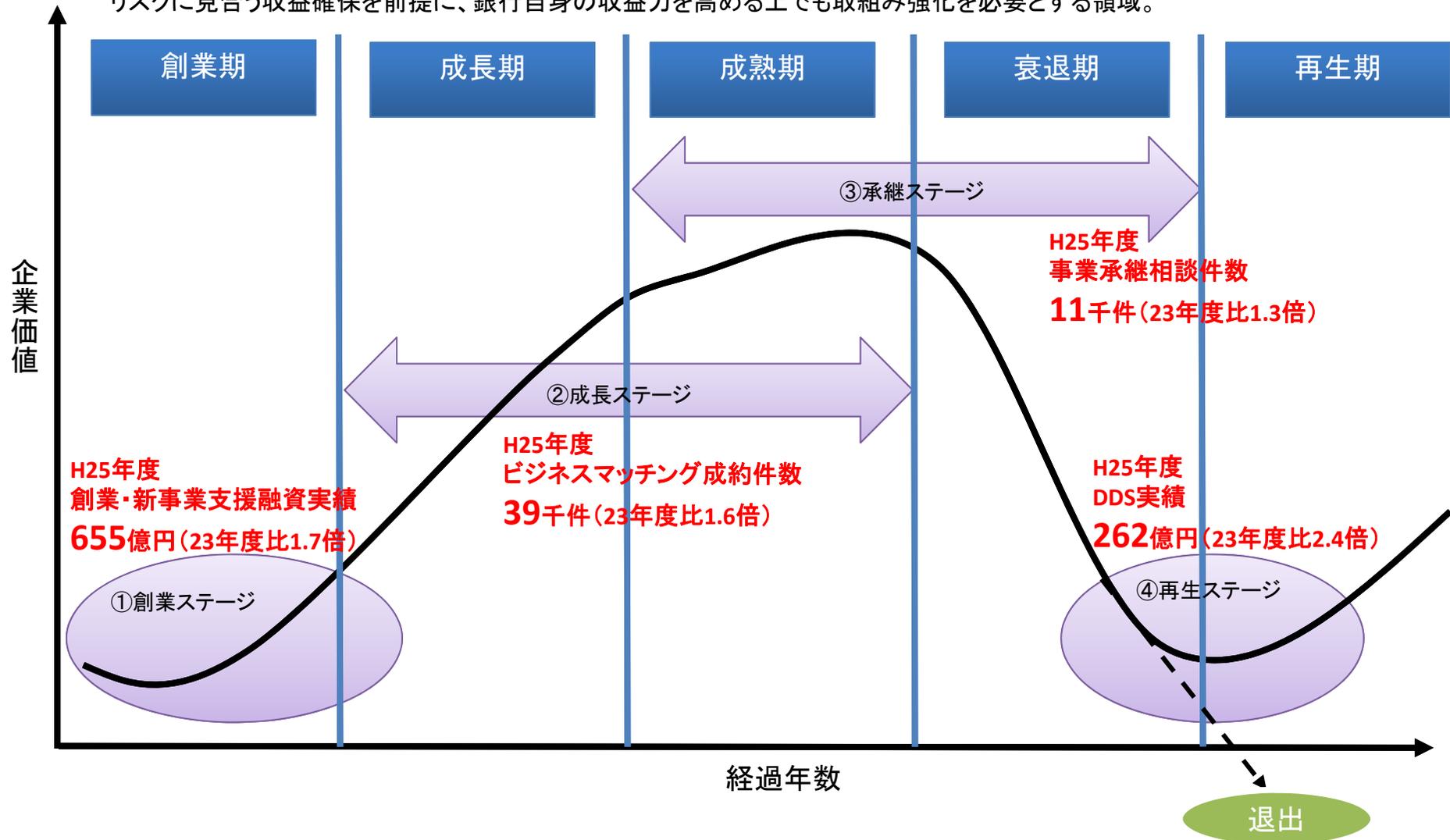
## 1. 地域密着型金融の取組み経緯と成長資金の供給に向けた現状認識

地域密着型金融の推進は、不良債権問題への対応に向けた集中的・重点的期間を経て、恒久的な枠組みへと発展し、現在では、ビジネスモデルの確立へと深化が求められている。



## 2. 地方銀行の成長資金の供給にかかる取組み実績

- ✓ 地域密着型金融の推進を通し、ライフステージに応じた資金供給・アドバイス等の取組みは実績を着実に積み上げてきている。
- ✓ 創業・新事業支援融資は、平成23と25年度の対比で1.7倍の伸長となっているが、地方銀行の中小企業向け貸出規模(平成25年度末69兆円)に比し規模は小さく、一層の開拓余地。リスク管理債権比率の低下もあり、経営改善支援・事業再生におけるDESやDDSといった金融手法の活用は足元落ち着きつつある。
- ✓ 低金利局面が継続する中、地方銀行全体の基礎的利益(コア業務純益)は低下傾向にあり、成長資金・リスクマネーの供給は、リスクに見合う収益確保を前提に、銀行自身の収益力を高める上でも取組み強化を必要とする領域。



## 3. ライフステージに応じた支援にかかる課題と取組み事例

## 案件発掘

## 創業支援・ベンチャー支援

- 資金供給の拡大は、案件の発掘力に大きく影響を受け、起業家等との接点強化が重要。  
顕在化した新事業案件として民間金融機関に申込みされる事案は必ずしも多くなく、潜在的案件の掘起し活動を通じ、案件発掘に繋げていく工夫が必要。
- 起業家精神の醸成、新事業開拓に向けた取組み機会の提供といった潜在需要者を喚起する取組みを充実させていく必要がある。

(会員行の取組み事例)

- ・創業支援セミナーやビジネスプランコンテストの開催
- ・技術・製品開発等に向けた取引先と大学、研究機関等との連携に向けたコーディネート
- ・大手企業への技術提案会による共同事業化支援

等

## 資金供給ノウハウ

- 資金供給の拡大には、案件の持込みを受けて審査を行う取捨選択型の活動ではなく、構想段階から関与する案件形成型の活動がリスク管理上からも有効。  
計画策定関与による事業への深い理解、財務戦略アドバイスを通じた資金調達手法提案を通じ、効果的なコベナンツ設定や適正なプライシングにも繋がる。
- メザニンやエクイティといった資金供給手法は、政府系金融機関や公的機関等との連携や協調支援を通じ、組織的にノウハウ蓄積を図っていく必要がある。

(会員行の取組み事例)

- ・起業・創業支援に向けた地域プラットフォームの形成
- ・REVICや政府系金融機関とのファンド組成
- ・政府系金融機関との協調融資の実行

等

## 経営改善・事業再生支援

- 創業支援等とは異なり、既存取引先への対応となることから、日常的かつ継続的な取引先との関係強化に加え、経営目標や課題の把握・分析に関し、取引先との目線合わせが重要。
- 経営課題に関する目線合わせ等に関しては、客観的な第三者を介在させ、共通認識を醸成する方法は有効。

(会員行の取組み事例)

- ・中小企業再生支援協議会との連携による経営改善、再生支援
- ・中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業を活用した専門家派遣

等

- 経営改善や再生支援は、地域密着型金融の推進にかかる取組み初期から継続し強化してきており、金融手法のノウハウ蓄積が進んできた分野。

- 再生等を担う人材の継続的な育成に加え、金融支援にとどまらない本業改善支援の充実が必要。その際、外部機関との連携は有効と考えられる。

(会員行の取組み事例)

- ・地域再生ファンドの組成やREVIC、東日本大震災事業者再生支援機構等との連携による再生支援
- ・政府系金融機関との協調融資の実行
- ・REVICからの特定専門家派遣の受入れ

等

全国地方銀行協会では、上記のような活動事例を「地域密着型金融に関する取組み状況」として年に1度とりまとめ、会員銀行に対し情報還元を行うとともに、対外公表により利用者への情報提供を行い、業界をあげた取組み促進に繋げている。

## 4. 成長資金の供給にかかる意見(まとめ)

### ○案件発掘に向けた取組み課題

- ✓ 地域経済の活性化、成長を支える使命を持つ地域金融機関として、ベンチャー・創業支援、事業再生といった領域の資金供給は一層推進していく必要があり、案件発掘力の強化に向けた自己努力を重ねる(地域内外とのネットワーク拡充、産学官や公的金融機関との連携態勢の充実を含む)。

### ○政府系金融機関との関係(民業補完と民業圧迫)

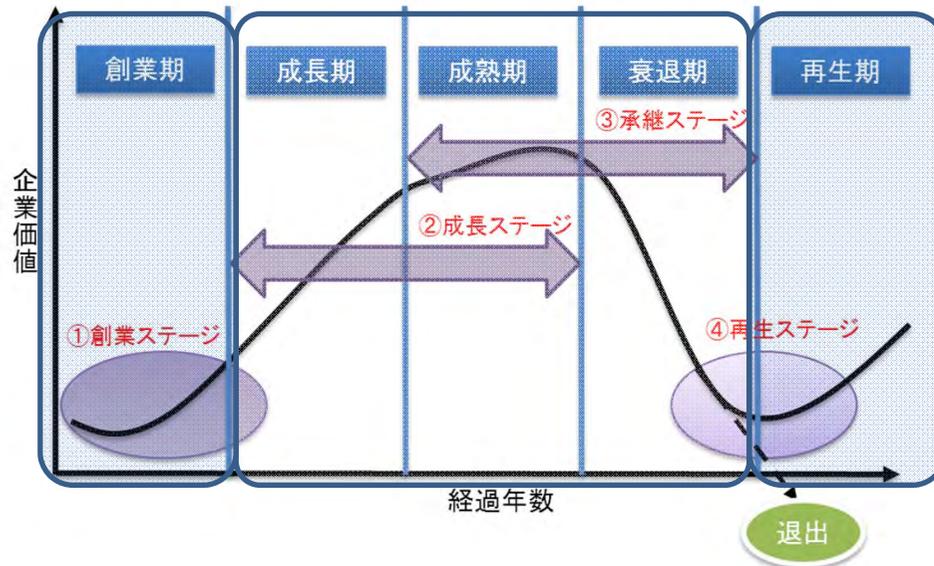
- ✓ メザニンやエクイティといった資金供給手法を定着させていくには、地域金融機関においてノウハウ修得・蓄積を重ねる必要があるが、この点で、公的金融機関(日本政策投資銀行、商工中金、日本政策金融公庫、国際協力銀行等)との連携は有効。
- ✓ 但し、資金供給において、リスク対比のリターンを意識したプライシングがなければ、ビジネスとして根付かないと考えられ、制度的枠組みにおいて改善の余地があるのではないか。

例えば、政府系金融機関のみに限定された利子補給制度などは、当該適用金利に引きずられることで、こうした資金供給にかかる市場形成が図られていくうえで適切なプライシング環境に影響を与えかねず、見直しの余地がある。

- ✓ 地域金融機関がリスクマネーを供給していくうえでは、民間金融機関の収益力の底上げも重要であり(リスク耐性への手当てにもなる)、民間金融機関が取り組むコアの貸出市場といえる成長期・安定期のシニアローンにかかる健全な貸出市場の成長を図る必要がある。  
このため、公的金融機関による補完を必ずしも要さない、成長期・安定期の資金供給に関し、民間金融機関は、事業性評価にもとづく融資の促進、不動産担保や個人保証に過度に頼らない融資の一層の取り組みを通じた市場形成を促しつつ、公的金融機関は民業圧迫とならない対応に留意していただく必要があるのではないか。

民間貸出金利との大幅な乖離を背景に、民間金融機関で取組み可能な案件が公的金融機関へと流出している事例が見られる(民間貸出金利との乖離には、表面の適用金利だけでなく、顧客側が支払金利の一部に関し、利子補給制度を通じ軽減が図られているものを含む)。

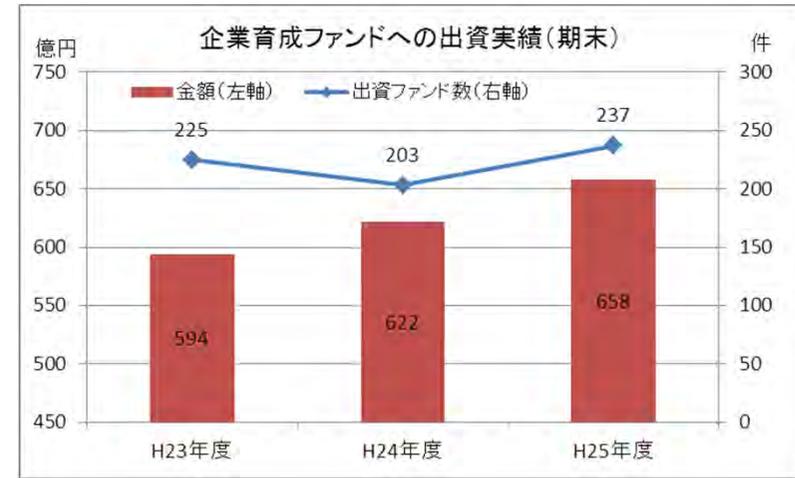
## ■ 民業補完・民業圧迫事例



事例から見える特徴	今後の方向性
<p><b>○創業期</b></p> <p>政府系金融機関による資本性ローンや協調融資など、民間金融機関では対応しにくい創業期のリスクマネーの供給において、連携した取組みが広がっている。</p>	<p>民業補完の拡充</p>
<p><b>○成長期・成熟期・衰退期</b></p> <p>衰退期において、資本性ローンや協調融資により財務面の強化や資金繰りの安定化に貢献している面もあるが、成長期や成熟期において、民間金融機関では対抗しえない条件提示や政策目的の範囲に照らし妥当性に疑問がある対応などの結果、競合する事例が多く見られる。</p>	<p>民業補完の徹底</p>
<p><b>○再生期</b></p> <p>政府系金融機関が円滑な再生手続きを阻害している対応が見られる一方、政策金融が呼び水となって民間金融機関からのリスクマネー供給を誘発し、再生局面において一定の信用補完効果が発揮された事例が見られる。</p>	<p>民業補完の拡充</p>

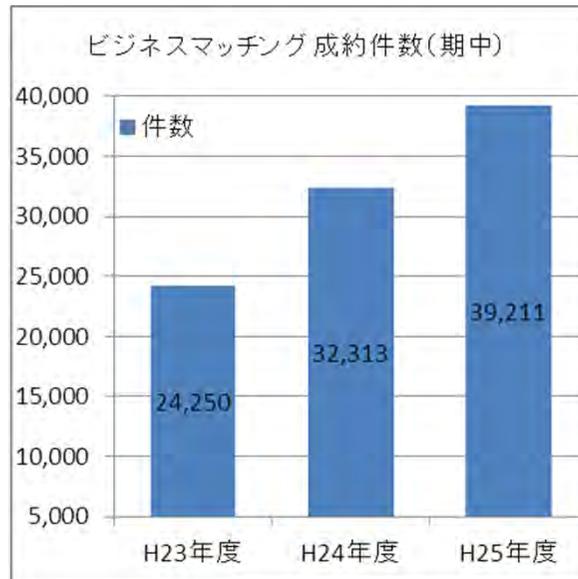
## ＜参考＞地方銀行の成長資金の供給にかかる取組み実績

### ①創業ステージにかかる資金供給



出所:「平成25年度の地方銀行における地域密着型金融に関する取組み状況」  
(平成26年9月全国地方銀行協会)

### ②成長ステージにかかる支援

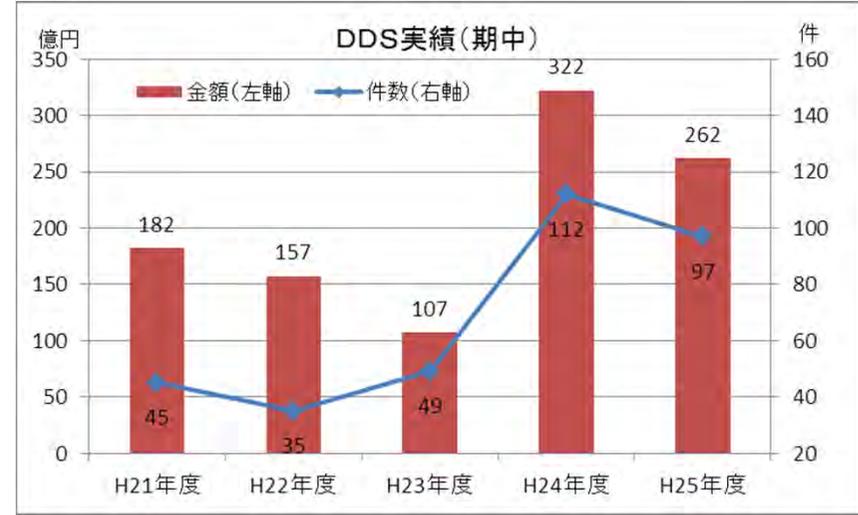
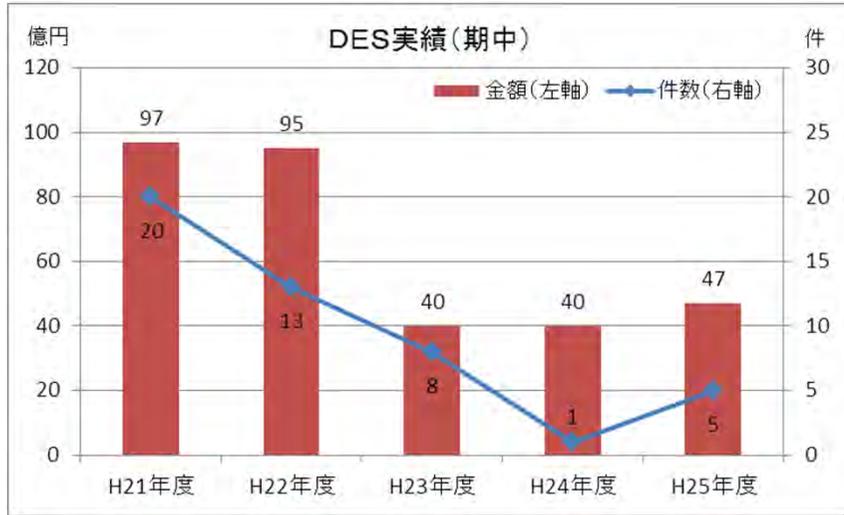


### ③承継ステージにかかる支援



出所:「平成25年度の地方銀行における地域密着型金融に関する取組み状況」  
(平成26年9月全国地方銀行協会)

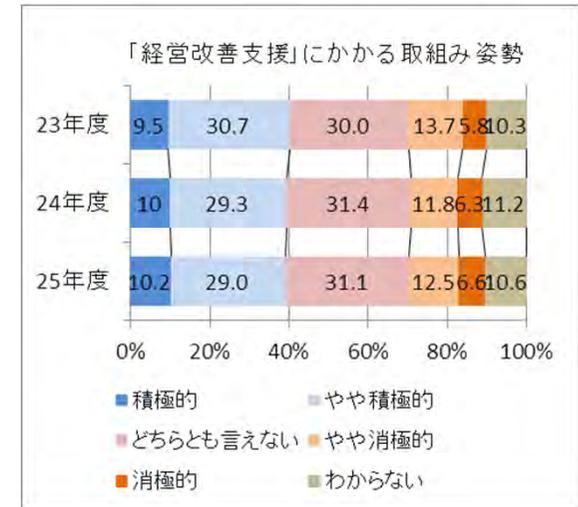
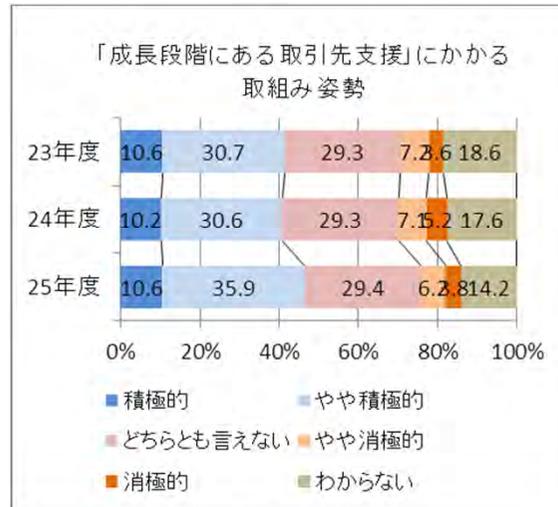
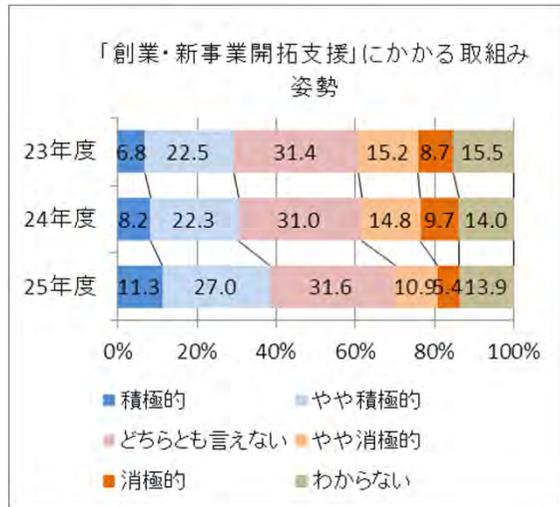
### ④経営改善、再生ステージにかかる支援



出所:「地方銀行における地域密着型金融に関する取組み状況」(全国地方銀行協会)をもとに作成

### ⑤地域密着型金融に関する地域金融機関に対する利用者評価

ライフステージに応じた取引先支援に関する取組み姿勢に対する利用者の評価(積極的・やや積極的)は「成長段階にある取引先支援」を中心に評価向上の傾向にあるが、なお改善の余地。



出所:「地域金融機関の地域密着型金融の取組み等に対する利用者等の評価に関するアンケート調査結果等の概要」(平成26年8月金融庁)